

9627 株式会社 アインホールディングス

新型コロナウイルス感染拡大が与える影響とは？

COVID-19

IMPACT REPORT

本レポートを構成する新型コロナ関連分析結果

大手経済メディアへ分析データ提供多数

週刊エコノミスト

大型特集10ページ掲載6/1発売号

日本経済新聞、ITメディア、ダイヤモンドオンライン他

新型コロナ関連レポート累計1万ダウンロード突破！

特許取得済み自然言語処理技術
膨大なニュースから解析を可能に

大手金融機関、事業法人を中心に
100社以上にサービスを展開

MUFGアクセラレータプログラム
グランプリ企業

目次

アインホールディングスへの影響予測

1. 新型コロナウイルス影響サマリー
2. シナリオ分析（エリア別）
3. サプライチェーン影響予測
 - 仕入先企業への影響予測
 - 得意先企業への影響予測
4. AI決算コメント
5. 競合企業決算分析
6. 業績要因一覧
7. 企業基本情報

アインホールディングス
シナリオ影響スコア合計

54.40

増益の可能性

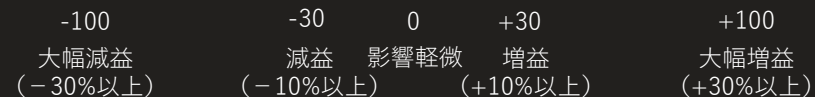
当企業は、業績にポジティブな影響を与えるシナリオが顕著にみられ、業績が伸張する可能性が高いといえます。

アインホールディングス
シナリオ影響スコア合計

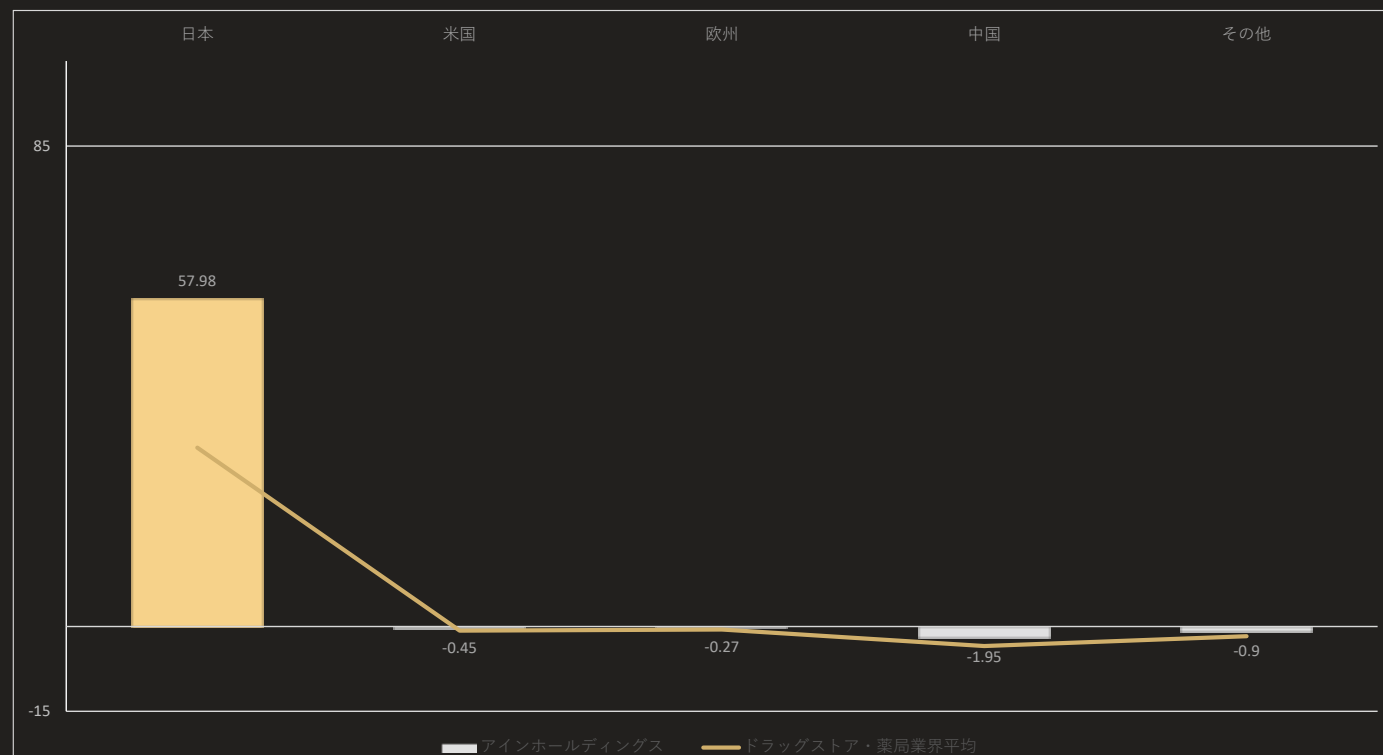
54.40

ドラッグストア・薬局
業界平均

25.85



感染拡大エリア別アインホールディングスへの影響



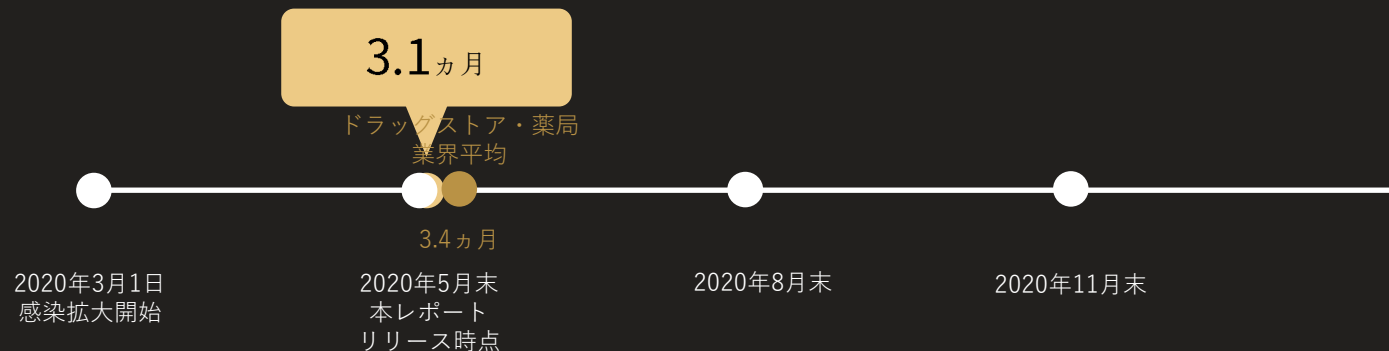
アインホールディングス
シナリオ影響平均時間軸

3.1ヵ月

本格的な影響発生中

上記期間は、影響するシナリオ全体の時間軸を平均した期間で、全体として上記期間前後を中心に業績に顕在化することを意味します（2020年3月1日を感染拡大の初日として計算）。当企業では本格的な業績影響は既に始まっていることが想定されます。

アインホールディングス
シナリオ影響平均時間軸

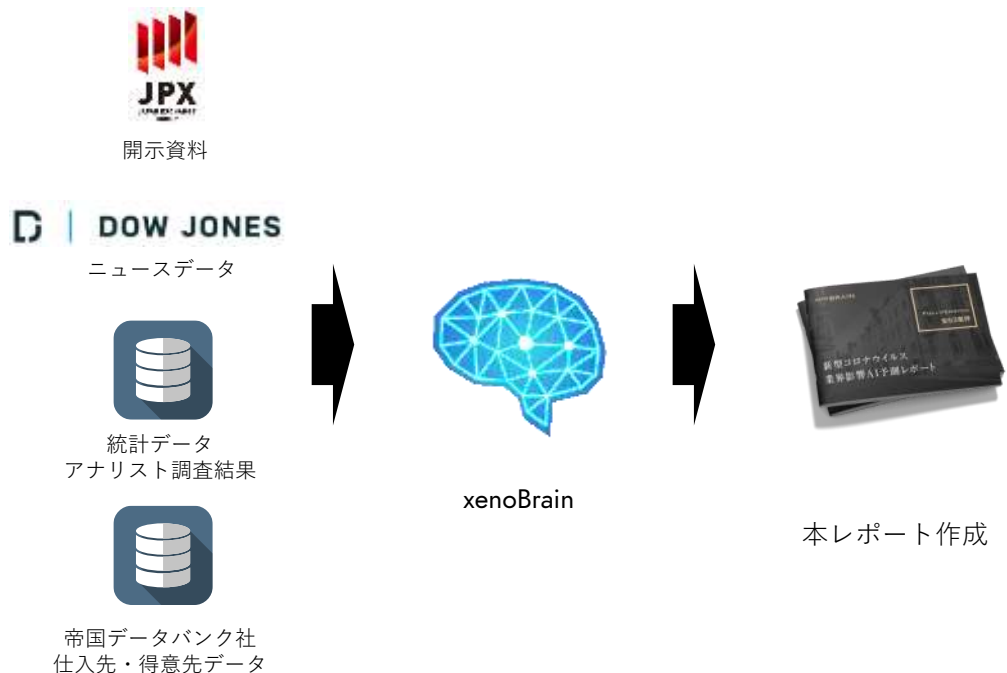


アインホールディングスへの影響時間軸

	アインホールディングス	アインホールディングス 仕入先業界平均	アインホールディングス 得意先業界平均	ドラッグストア・ 薬局業界
短期 (~3か月以内に業績影響)	165.7%	-	165.7%	221.57%
中期 (3か月~1年以内に業績影響)	-65.7%	-	-65.7%	-121.57%
長期 (1年超後に業績影響)	0%	-	0%	0%
シナリオ影響 平均時間軸	3.1ヵ月	-	3.1ヵ月	3.4ヵ月

本レポート上で掲載するスコアについて

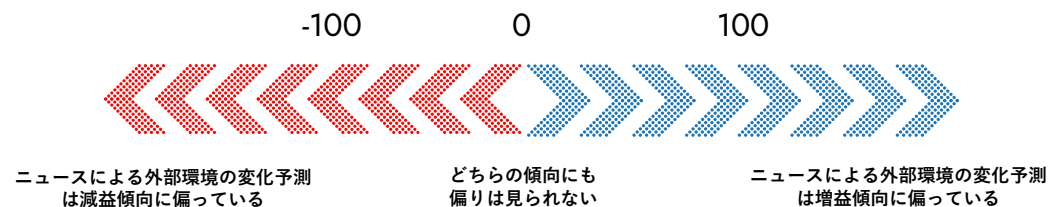
スコア生成方法について



本資料のスコアはxenodata lab.社独自のAIによる解析及びアナリストの独自調査によりデータを抽出し、その抽出結果をシステムにより自動で計算しております。
その基となっているデータは以下の4つとなります。

- ①ニュースデータ（ダウ・ジョーンズ社から提供を受ける国内約100社の経済メディアのニュース記事データ）
- ②開示資料（有価証券報告書、決算短信及び決算説明会資料に含まれる数値及び文章）
- ③統計データ（様々な団体から発表、公開されている統計データ）
- ④帝国データバンク社から提供を受けた、仕入先、得意先データ

スコアの見方について



本資料上の企業ごとのスコアは、特定のニュースが発生した場合に、現時点でxenoBrain上でインプットされているすべてのシナリオの影響を計算したスコアです。
また、本資料におけるスコアは、スコアの絶対値が大きければ大きいほど、将来業績に影響を与える可能性が高いと判断していることを意味します。また、0に近ければ近いほど実際に業績に影響する可能性が低いと判断していることを意味します。

※スコアを見るうえでの留意点

<情報の網羅性・正確性>

本資料のスコア計算に必要な情報の網羅性については鋭意努力しておりますが、インサイダー情報や市場の暗黙知など文字情報に落ちていないナレッジ、今後企業が行う対策などの企業努力や競争力は一切考慮できておりません。また、大量の企業についての予測を行うために公開されている情報を基に様々な前提をおいた自動処理が含まれており、十分な情報と時間を基にした調査を行ったアナリストと同じ見解にならない可能性もございます。
あくまで公開されている経済情報のみからの予測であり、情報の網羅性・正確性を担保した予測ではないこと、ご注意ください。

<スコアの変動可能性>

ニュースの自動解析、アナリストの独自調査により一部データを構成しておりますので、時が経ちニュースが多く出るほどより多くのデータがインプットされ、結果としてスコアが変動することがございます。本資料は、表紙記載日付におけるxenoBrain上のデータを基に作成された資料であり、今後更新されることがございますのでご注意ください。

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



各国合計新型コロナウイルス感染拡大

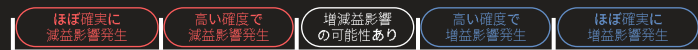
<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒		⇒	0 減収	-0.02	中期	
2	日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.2 日本ドラッグストア店舗数減少	⇒	0.32 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41 減収	-1.03	中期	
3	日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒		⇒	0.41 減収	-1.59	中期	
4	日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒		⇒	0.82 減収	-32.06	中期	
5	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0 増収	0	中期	
6	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒	0.41 減収	-0.09	中期	
7	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒	0.08 減収	-0.18	中期	
8	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0 増収	0	中期	
9	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒	0.41 減収	-0.02	中期	
10	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒	0.08 減収	-0.04	中期	
11	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0 増収	0	中期	
12	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒	0.41 増収	0	中期	
13	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒	0.08 増収	0	中期	

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



各国合計新型コロナウイルス感染拡大

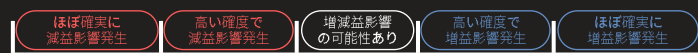
<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	日本テレワーク需要増加	⇒	0.2 日本化粧品需要減少	⇒		⇒		⇒	0	減収	-0.04	中期
2	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.3 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒	0.08	減収	-0.97	中期
3	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国団体海外旅行禁止	⇒	0.2 日本訪日中国人数減少	⇒	0.06 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41	減収	-0.49	中期
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.3 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒	0.41	減収	-0.48	中期
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 中国団体海外旅行禁止	⇒	0.2 日本訪日中国人数減少	⇒	0.22 日本化粧品需要減少	⇒	0	減収	-0.01	中期
6	中国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.3 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0	減収	-0.01	中期
7	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒	0.08	減収	-0.56	中期
8	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒	0.41	減収	-0.28	中期
9	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0	増収	0	中期
10	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒		⇒	0.08	減収	-0.17	中期
11	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.08	減収	-0.13	中期
12	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒		⇒	0.41	減収	-0.09	中期
13	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41	減収	-0.06	中期
14	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0	増収	0	中期
15	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0	増収	0	中期

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
16	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 日本医療用医薬品需要増加	⇒		⇒		⇒	0.41	増収	8.16	短期
17	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本ドラッグストア需要増加	⇒		⇒		⇒	0.82	増収	82	短期
18	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本ドラッグストア需要増加	⇒	0.2 日本ドラッグストア店舗数増加	⇒	0.32 日本医療用医薬品需要増加	⇒	0.41	増収	2.63	中期
19	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 日本一般用医薬品需要増加	⇒	0.14 日本ドラッグストア需要増加	⇒		⇒	0.08	増収	0.23	中期
20	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.08	減収	-0.13	中期
21	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41	減収	-0.06	中期
22	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本海外旅行需要減少	⇒	0.2 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0	減収	-0.04	中期
23	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本国内旅行需要減少	⇒	0.2 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0	減収	-0.04	中期
24	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本百貨店客数減少	⇒	0.09 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0	減収	-0.02	短期
25	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0	増収	0	中期

エリア別 シナリオ一覧

- 日本
- 米国
- 欧州
- 中国
- その他（インド、ブラジル、韓国、インドネシア、イラン、ロシア、トルコ、豪州、アフリカ）



アインホールディングス

影響シナリオ一覧



日本新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響
1	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本ドラッグストア需要増加				0.82 増収	82	短期
2	日本新型コロナウイルス感染拡大		0.2 日本医療用医薬品需要増加				0.41 増収	8.16	短期
3	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本ドラッグストア需要増加		0.2 日本ドラッグストア店舗数増加		0.32 日本医療用医薬品需要増加	0.41 増収	2.63 中期
4	日本新型コロナウイルス感染拡大		0.2 日本一般用医薬品需要増加		0.14 日本ドラッグストア需要増加			0.08 増収	0.23 中期
5	日本新型コロナウイルス感染拡大		0.2 世界日本円相場上昇		0.2 日本訪日外国人人数減少		0.1 日本化粧品需要減少	0 増収	0 中期
6	日本訪日外国人人数減少		0.1 日本化粧品需要減少					0 減収	-0.02 中期
7	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本百貨店客数減少		0.09 日本化粧品需要減少			0 減収	-0.02 短期
8	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本国内旅行需要減少		0.2 日本化粧品需要減少			0 減収	-0.04 中期
9	日本新型コロナウイルス感染拡大		1 日本海外旅行需要減少		0.2 日本化粧品需要減少			0 減収	-0.04 中期
10	日本テレワーク需要増加		0.2 日本化粧品需要減少					0 減収	-0.04 中期
11	日本新型コロナウイルス感染拡大		0.2 世界日本円相場上昇		0.2 日本訪日外国人人数減少		0.04 日本医療用医薬品需要減少	0.41 減収	-0.06 中期
12	日本新型コロナウイルス感染拡大		0.2 世界日本円相場上昇		0.2 日本訪日外国人人数減少		0.39 日本ドラッグストア需要減少	0.08 減収	-0.13 中期
13	日本訪日外国人人数減少		0.39 日本ドラッグストア需要減少		0.2 日本ドラッグストア店舗数減少		0.32 日本医療用医薬品需要減少	0.41 減収	-1.03 中期
14	日本訪日外国人人数減少		0.04 日本医療用医薬品需要減少					0.41 減収	-1.59 中期
15	日本訪日外国人人数減少		0.39 日本ドラッグストア需要減少					0.82 減収	-32.06 中期

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



米国新型コロナウイルス感染拡大

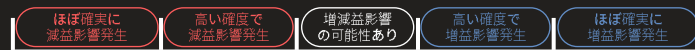
<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	日本訪日外国人数減少	0.1	日本化粧品需要減少	0	増収	0	0	中期
2	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.05	日本訪日外国人数減少	0.1	日本化粧品需要減少	0	増収	0	増収	0	0	中期
3	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	0.41	減収	-0.06	0	中期
4	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.05	日本訪日外国人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	0.41	減収	-0.09	減収	-0.09	0	中期
5	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	日本訪日外国人数減少	0.39	日本ドラッグストア需要減少	0.08	減収	-0.13	0	中期
6	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.05	日本訪日外国人数減少	0.39	日本ドラッグストア需要減少	0.08	減収	-0.17	減収	-0.17	0	中期
総計									減益	-0.45		

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



欧州新型コロナウイルス感染拡大

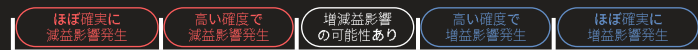
<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0 増収	⇒	0	0	0	中期
2	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41 減収	⇒	-0.09	-0.09	0	中期
3	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.08 減収	⇒	-0.18	-0.18	0	中期
総計									減益	-0.27		

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



中国新型コロナウイルス感染拡大

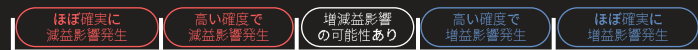
<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
1	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少	0	減収	-0.01	中期			
2	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国団体海外旅行禁止	0.2	日本訪日中国人数減少	0.22	日本化粧品需要減少	0	減収	-0.01	中期	
3	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本医療用医薬品需要減少	0.41	減収	-0.48	中期			
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国団体海外旅行禁止	0.2	日本訪日中国人数減少	0.06	日本医療用医薬品需要減少	0.41	減収	-0.49	中期	
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人人数減少	0.39	日本ドラッグストア需要減少	0.08	減収	-0.97	中期			
総計									減益	-1.96		

アインホールディングス

影響シナリオ一覧



その他エリア 新型コロナウイルス感染拡大

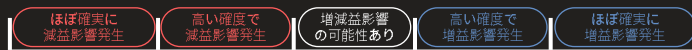
<表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
1	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0 増収	⇒	0	0	0	中期
2	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0 増収	⇒	0	0	0	中期
3	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41 増収	⇒	0	0	0	中期
4	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.08 増収	⇒	0	0	0	中期
5	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0 増収	⇒	0	0	0	中期
6	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41 減収	⇒	-0.02	0	0	中期
7	イラン新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.01 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.08 減収	⇒	-0.04	0	0	中期
8	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本医療用医薬品需要減少	⇒	0.41 減収	⇒	-0.28	0	0	中期
9	韓国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.18 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.39 日本ドラッグストア需要減少	⇒	0.08 減収	⇒	-0.56	0	0	中期
総計										減益	-0.9	

アインホールディングス サプライチェーン分析

- 仕入先分析サマリー
- 仕入先減益ランキング
- 仕入先増益ランキング
- 得意先分析サマリー
- 得意先減益ランキング
- 得意先増益ランキング

当企業には、仕入先企業に該当するデータがございませんでした。

当企業には、得意先企業に該当するデータがございませんでした。


アインホールディングス

AI決算コメント

2020年04月期 第3四半期

(19/05 - 20/01月)

決算発表日時2020年 03月04日 15:30

AI決算分析サービスをもっと知りたい 

<AI決算コメントについて>

本コメントは、決算発表後最速数十秒で自動生成されるテキスト形式のレポートであり、その内容を定期的に本レポートに反映しております。本レポートでは、営業利益や最終利益の実績値の結果情報だけでなく、その業績変動の背景を独自の自然言語処理技術を使って自動解説として出力しており、瞬時に決算の背景を理解することができます。また、セグメント数値を自動で抽出することにより、その決算の業績変動のドライバーとなったセグメントについてもすぐに確認することが可能です。

19年5月～20年1月期、売上高は、2,201億円で前年同期比8.7%増収となった。増収は、ファーマシー事業の売上増加が寄与した。

営業利益は、124億円で前年同期比4.5%増益となった。営業増益は、ファーマシー事業が前年同期から増益となったことが寄与した。

経常利益は、130億円で前年同期比4.7%増益となった。

最終利益は、71.1億円で着地した。事業譲渡益3.13億円、不動産賃貸料3.04億円の計上も、固定資産除売却損4.15億円、不動産賃貸費用1.01億円の計上が影響した。

四半期ベースでは、前年同期比では、売上高は、742億円でy-y4.9%増収となった。増収は、ファーマシー事業、リテール事業の売上増加が寄与した。

営業利益は、40.9億円でy-y21.0%減益となった。営業減益は、ファーマシー事業、その他の事業が前年同期から減益となったことが影響した。

経常利益は、42.5億円でy-y21.5%減益となった。

最終利益は、24.9億円でy-y20.8%減益となった。

前四半期比売上高は、742億円でq-q1.2%増収となった。増収は、ファーマシー事業、リテール事業の売上増加が寄与した。

営業利益は、40.9億円でq-q7.7%減益となった。営業減益は、その他の事業が前四半期から増益となったものの、リテール事業が減益となったことが影響した。

経常利益は、42.5億円でq-q6.7%減益となった。

最終利益は、24.9億円でq-q4.5%増益となった。

会社は20年4月期業績予想を修正。売上高を下方修正し2,932億円(従来予想は3,003億円)、営業利益を下方修正し165億円(従来予想は187億円)、経常利益を下方修正し172億円(従来予想は192億円)、最終利益を下方修正し92.5億円(従来予想は101億円)とした。

自己資本比率は58.0%(19年4月末は54.9%)となった。

EBITDAマージンは5.65%(前年同期は5.88%)となった。

インタレストカバレッジレシオは234.84倍(前年同期は109.25倍)となった。

D/Eレシオは0.06倍(前期末は0.11倍)となった。

調剤薬局大手6社

予想値分析



通期業績予想達成回数 6/10回
通期業績予想平均達成率 103.7%
※過去の第3四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況



P/L分析



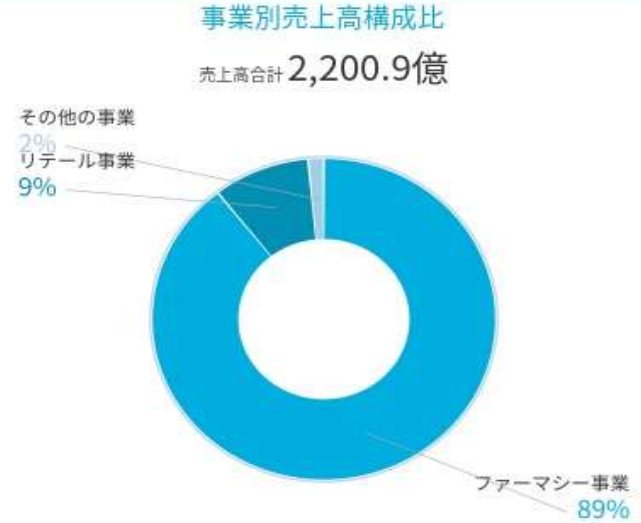
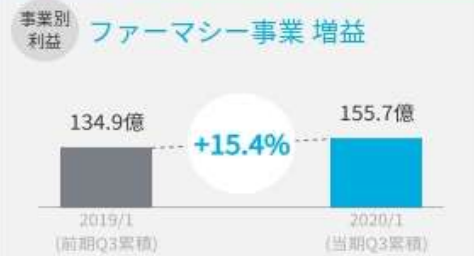
ファーマシー事業の売上増加により増収となった。



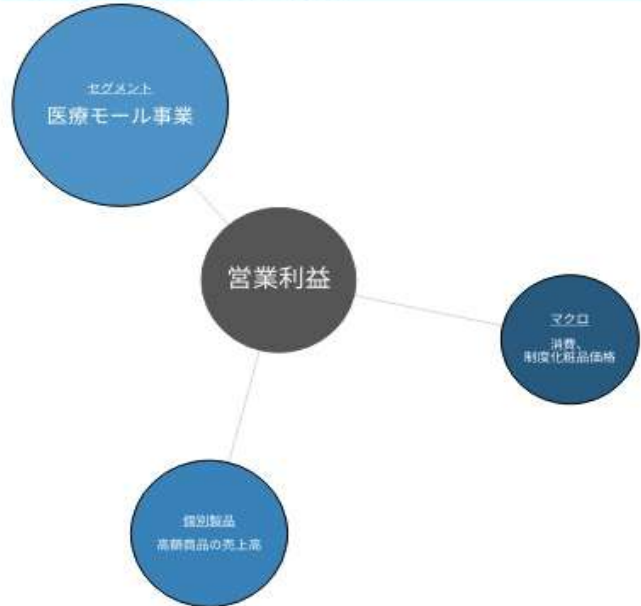
ファーマシー事業の好調により増益となった。



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析



競合企業決算分析

AI決算分析サービス
をもっと知りたい



調剤薬局大手6社

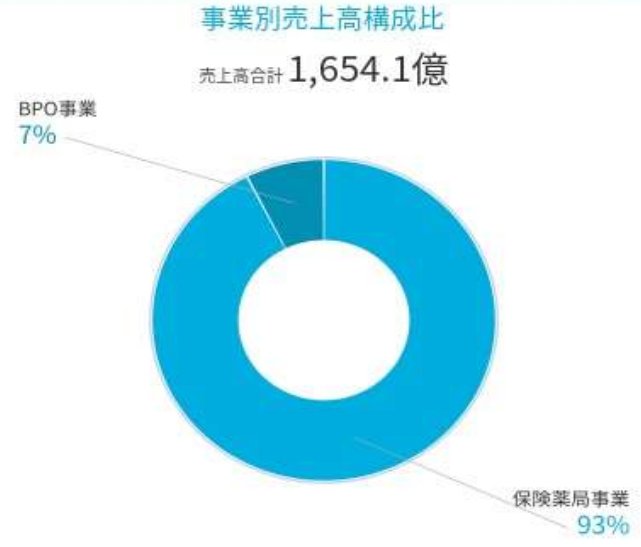
予想値分析



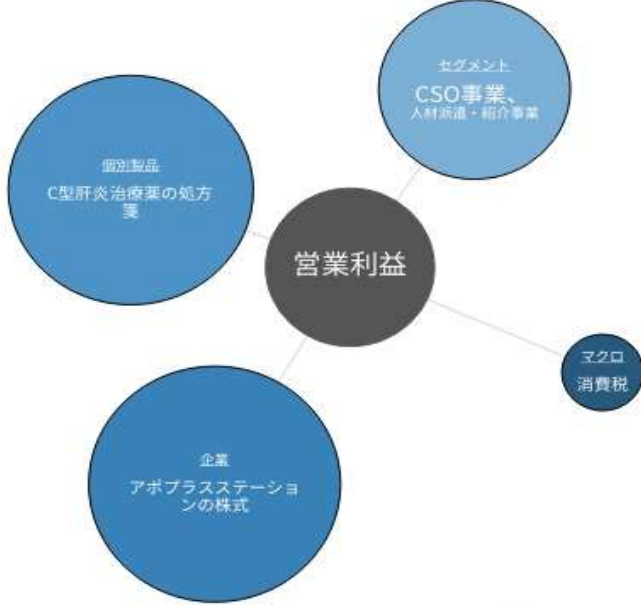
P/L分析



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析



競合企業決算分析

AI決算分析サービス
をもっと知りたい

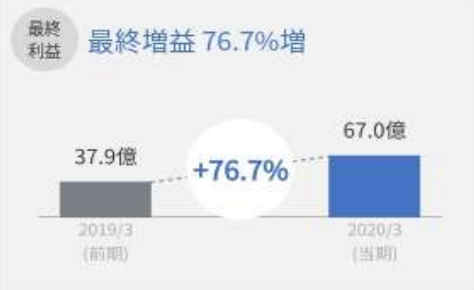


調剤薬局大手6社

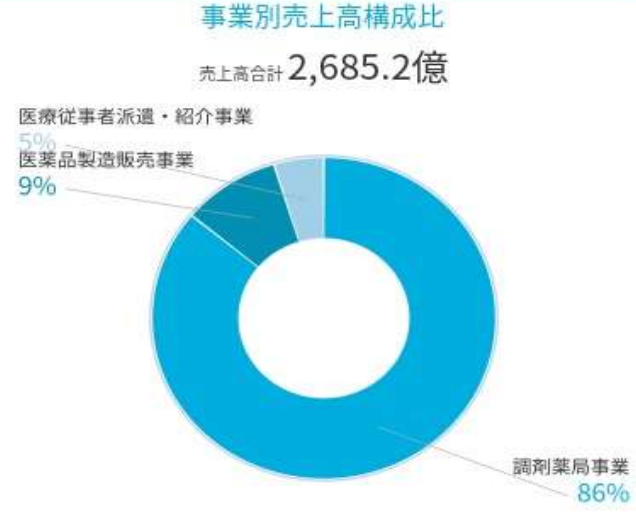
予想値分析



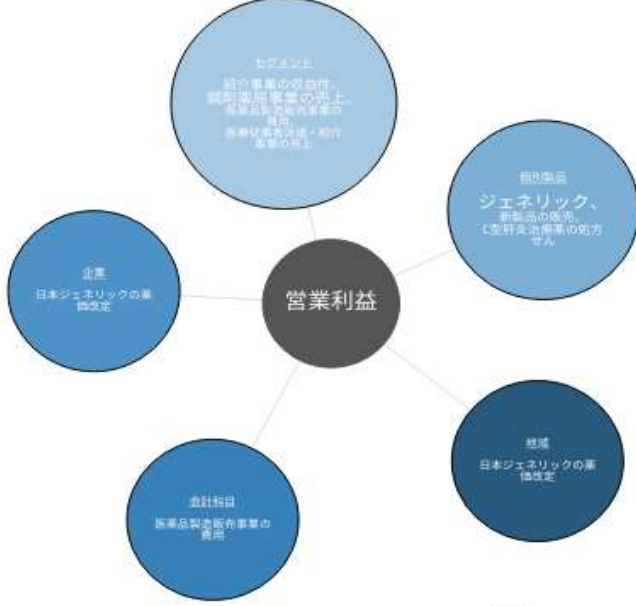
P/L分析



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析



競合企業決算分析

AI決算分析サービス
をもっと知りたい

調剤薬局大手6社

予想値分析



通期業績予想達成回数 6/11回
通期業績予想平均達成率 110.5%
※過去の第3四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況



P/L分析



平成30年10月1日付で取得した株式会社ケミスト、令和元年6月28日付で取得した有限会社アマゾンファーマシー(令和元年12月1日付でファーマライズ株式会社を存続会社として吸収合併)が増収に寄与した他、調剤薬局事業における技術料の着実な獲得等も、不採算店舗の閉店の影響があったことにより相殺され、全体としておおむね横ばいで推移した。



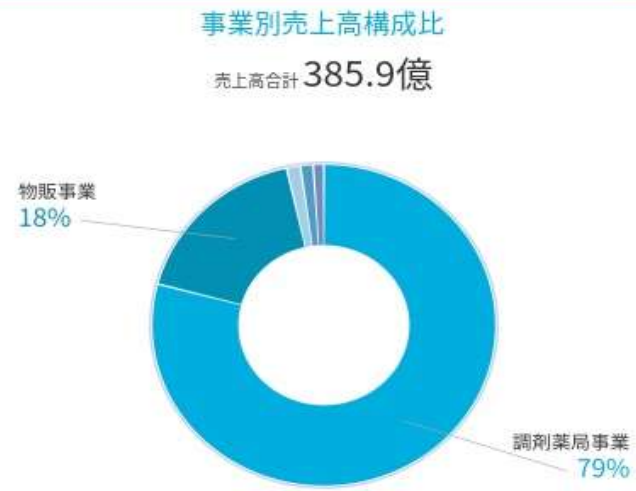
調剤薬局事業の好調により増益となった。



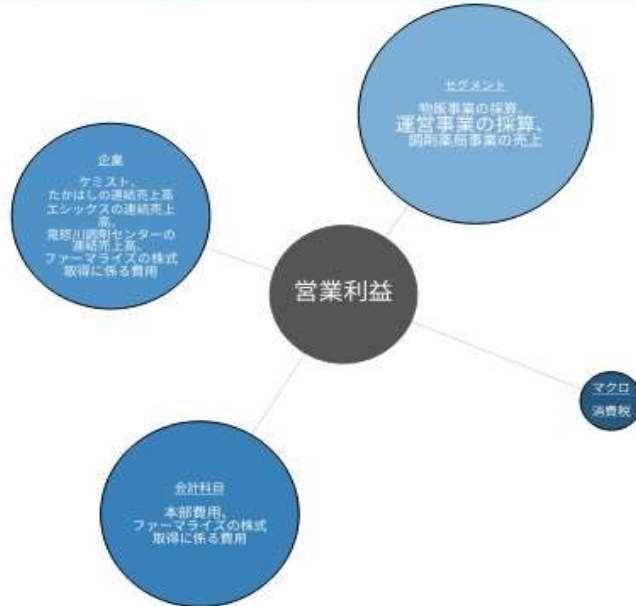
事業別分析



当該損失は、コンビニエンスストア及びドラッグストアの運営事業が依然採算改善の途上にあることが影響したことも、全体としておおむね横ばいで推移した。



営業利益影響要因の経年分析



競合企業決算分析

AI決算分析サービスをもっと知りたい

調剤薬局大手6社

予想値分析



通期業績予想達成回数 8/11回
通期業績予想平均達成率 105.7%
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況



P/L分析



主要セグメントである「健康生活サービス」、「調剤サービス」が順調に推移したことにより増収となった。



人件費等の増加はあるも、「健康生活サービス」及び「調剤サービス」の売上増加に伴う利益増等により増益となった。



事業別分析



前期に出店した9店舗を含む新店効果に加え、抗がん剤など高額な医薬品の処方増加などにより処方せん単価の上昇の影響で増益となった。

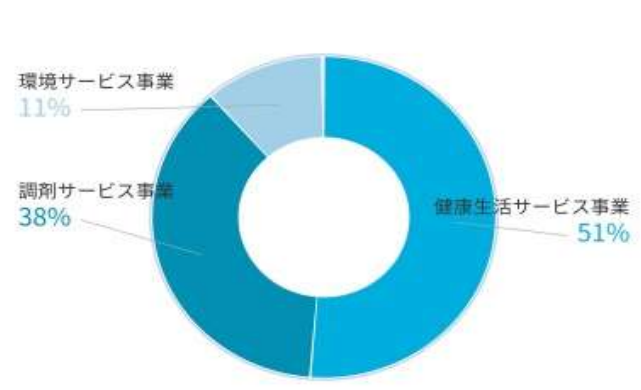


営業力強化及び人員拡充による人件費の増加はあるも、レンタル資材費の減少、売上増加に伴う利益増等により増益となった。

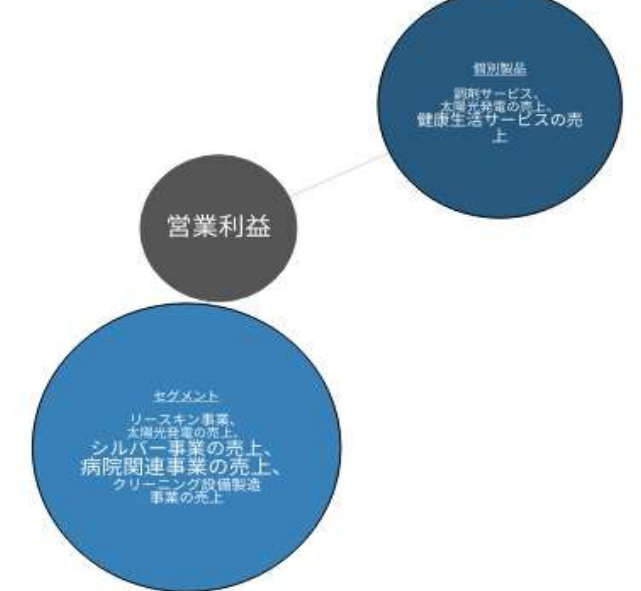


リースキン事業の売上減少に伴う利益減はあるも、ビル清掃管理事業の収益性改善や、太陽光事業におけるのれん償却が前期で終了したこと等により増益となった。

事業別売上高構成比
売上高合計 1,208.1億



営業利益影響要因の経年分析



競合企業決算分析

AI決算分析サービスをもっと知りたい

調剤薬局大手6社

予想値分析



通期業績予想達成回数 7/12回
通期業績予想平均達成率 96.3%
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況



中間配当予想は5.0円と発表された。

P/L分析



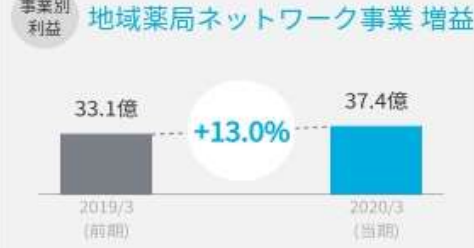
中核事業である地域薬局ネットワーク事業セグメントの医薬品ネットワーク部門が順調に推移したこと及び調剤薬局部門において前期M&Aにより取得した店舗の業績が寄与したことに加え、長期処方や高額薬剤の処方箋が増加して処方箋単価が上がったこと等の影響で増収となった。



地域薬局ネットワーク事業、賃貸・設備関連事業の好調により増益となった。



事業別分析



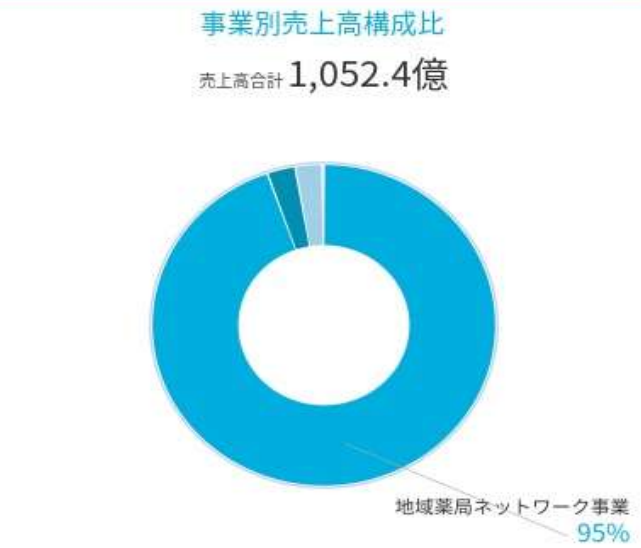
調剤薬局部門の好調により増収増益となった。



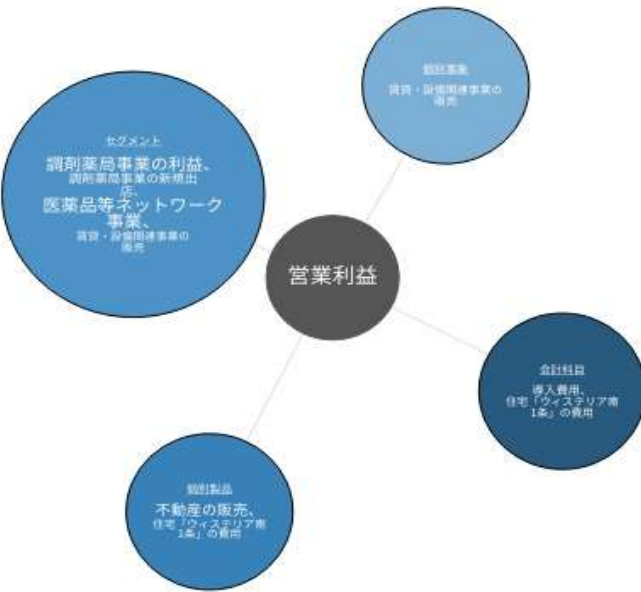
不動産賃貸収入やサービス付き高齢者向け住宅の入居件数が概ね堅調に推移したことにより増益となった。



不採算施設の撤退や契約単価の見直し等を進めているが、人員不足による人材派遣の利用による労務費の増加したこと等により減益となった。



営業利益影響要因の経年分析



競合企業決算分析

AI決算分析サービス
をもっと知りたい



アインホールディングス

業績要因一覧

セグメント及び業績に影響するトピック	売上高構成比率	影響時間軸	売上高(百万円)	出典	新型コロナウイルス感染拡大影響有無
ファーマシー事業	88.9%		245,003	有価証券報告書	
かかりつけ薬局需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
かかりつけ薬剤師需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
ジェネリック医薬品需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
医療用医薬品需要	88.9%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
在宅医療サービス需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
在宅医療需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
処方せん調剤需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
処方箋価格	88.9%	短期		有価証券報告書	
処方箋調剤需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
処方箋枚数	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤報酬	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤薬局客数	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤薬局客単価	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤薬局需要	88.9%	短期		有価証券報告書	

<表の見方について>

セグメント及び業績に影響するトピック：開示資料を中心に、様々なデータソースから抽出された本レポート対象企業の業績に影響を及ぼすトピックを、セグメントに分類して列挙しております。

売上高構成比率：セグメント名称と同一行にある比率は、そのセグメントの売上高構成比率を表示しております。各業績に影響するトピックは、セグメント売上高構成比率を基に、主力商品や主要原材料をより高く、非主力商品や非主要原材料をより低くなるよう、xenoBrain上で独自に推定した比率が表示されております。

影響時間軸：業績に影響するトピックに変動があったときに、どのような時間軸で業績に影響するかをxenodata lab社のアナリストが判断しています。短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。

売上高：セグメント売上高及び連結財務諸表上の売上高を表示しております。

出典：業績に影響するトピックを抽出したデータソースを表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響有無：「新型コロナウイルス感染拡大の影響有り」と記載されている場合、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同一行に表示されるトピックが増減（又は発生）し、その結果として当企業の業績に影響を及ぼす可能性があることを意味します。

アインホールディングス

業績要因一覧

セグメント及び業績に影響するトピック	売上高構成比率	影響時間軸	売上高(百万円)	出典	新型コロナウイルス感染拡大影響有無
調剤薬局新規出店	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤薬局店舗純増数	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤薬局店舗閉鎖数	88.9%	短期		有価証券報告書	
調剤薬局来店頻度	88.9%	短期		有価証券報告書	
訪問看護ステーション需要	88.9%	短期		有価証券報告書	
薬価	88.9%	短期		有価証券報告書	
薬剤師人数	88.9%	短期		有価証券報告書	
リテール事業	9.1%		25,210	有価証券報告書	
ドラッグストア需要	9.1%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
医療用医薬品需要	9.1%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
その他の事業	2%		5,382	有価証券報告書	
化粧品需要	2%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り

<表の見方について>

セグメント及び業績に影響するトピック：開示資料を中心に、様々なデータソースから抽出された本レポート対象企業の業績に影響を及ぼすトピックを、セグメントに分類して列挙しております。

売上高構成比率：セグメント名称と同一行にある比率は、そのセグメントの売上高構成比率を表示しております。各業績に影響するトピックは、セグメント売上高構成比率を基に、主力商品や主要原材料をより高く、非主力商品や非主要原材料をより低くなるよう、xenoBrain上で独自に推定した比率が表示されております。

影響時間軸：業績に影響するトピックに変動があったときに、どのような時間軸で業績に影響するかをxenodata lab社のアナリストが判断しています。短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。

売上高：セグメント売上高及び連結財務諸表上の売上高を表示しております。

出典：業績に影響するトピックを抽出したデータソースを表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響有無：「新型コロナウイルス感染拡大の影響有り」と記載されている場合、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同一行に表示されるトピックが増減（又は発生）し、その結果として当企業の業績に影響を及ぼす可能性があることを意味します。

アインホールディングス

基本情報

企業コード	9627
企業名	アインホールディングス
業種（東証33業種）	小売業
業種（xenoBrain）	ドラッグストア・薬局
代表者	代表取締役社長 大谷 喜一
住所	北海道札幌市白石区東札幌5条2丁目4-30
電話番号	011-814-1000
売上高	275,596百万円
資本金	21,894百万円
取引市場	東証 1 部
URL	https://www.ainj.co.jp/

ドラッグストア・薬局業界

アインホールディングスが所属する業界全体の分析レポート

xenoBrainでは新型コロナウイルス感染拡大が、所属する業界全体にどのような影響が発生しているのか、また、どのようなシナリオが考えられるかを、総合的に俯瞰できる業界レポートも提供しております。

ドラッグストア・薬局業界のレポートダウンロードはこちら↓

業界レポート ダウンロード 

[全63業界完全版レポートのダウンロードはこちら >>>](#)



本レポート発行企業

株式会社xenodata lab.

所在地 〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-29-1
渋谷クロスロードビル5F
設立年月日 2016年2月12日
代表者 代表取締役社長 関 洋二郎
従業員数 25名

沿革

- 2016/08 第一期 MUFJ Fintechアクセラレータ **グランプリ受賞**
- 2019/03 Series Bラウンド” 資金調達 **6.8億円**
- 2019/4 **時事通信社**と業務資本提携契約締結
- 2019/06 **ダウ・ジョーンズ社**と業務提携強化を発表
- 2019/11 **帝国データバンク**との業務提携を発表

株式会社xenodata lab.は、AIにより経済・企業の将来予測をリアルタイムで提供するSaaS型AIサービス『xenoBrain』を運営するスタートアップ企業です。2016年に創業以来、経済予測に特化し自然言語処理や機械学習を中心とした技術で膨大な経済データの解析を行い、主に大手金融機関や事業法人にサービスを提供しております。